

あゆみ速報

原研労組中執ニュース

原子力平和利用三原則
—公開・民主・自主—を守ろう

日本原子力研究開発機構労働組合

〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方 2-4
Tel. 029 (282) 5413, 5414 Fax. 029 (284) 0568

第71期 組合役員選挙結果のお知らせ

「第71期 組合役員選挙」、「第107期 大洗支部執行委員」、「第109期 高崎支部執行委員」の3つの選挙について、6月26日(水)に即日開票が行われました。中央及び支部選挙管理委員会から結果の報告がありましたので、お知らせいたします。

組合役員選挙の結果について(中央選挙管理委員会報告)

組規約第27条、第23条、第40条および第73条に則り、6月24日、25日および26日に行った第71期中央執行委員、同中央委員、同監査委員および支部執行委員役員選挙の結果について、選挙規則第10条に基づき、下記の票数で全員当選したことを報告する。(氏名等は省略)

中央執行委員

(全所一区、定数10名)

届出	氏名	所属	得票
1			
2			
3			
4			
5			

当選5人、投票総数200人、白票0、無効票4

中央委員

(東京・東海・関西選挙区、定数6名)

届出	氏名	所属	得票
1			
2			
3			
4			
5			

当選5人、投票総数110人、白票0、無効票13

中央委員(大洗選挙区、定数3名)

届出	氏名	所属	得票
1			
2			
3			

当選3人、投票総数78人、白票0、無効票5

中央委員(高崎選挙区、定数1名)

届出	氏名	所属	得票
1			

当選0人、投票総数0人、白票0、無効票0

原研労組に加入し、労働条件の改善と働きがいある職場をともにめざしましょう。(内線 Tel. 81-5413, 81-5414)

URL <http://orange.zero.jp/genkenrouso.wing/> E-mail genkenrouso@muse.ocn.ne.jp

監査委員

(東京・東海・関西選挙区、定数 1 名)

届出	氏名	所属	得票
1			

当選 1 人、投票総数 49 人、白票 0、無効票 0

監査委員

(高崎・大洗・那珂選挙区、定数 1 名)

届出	氏名	所属	得票
1			

当選 1 人、投票総数 51 人、白票 0、無効票 2

大洗・高崎支部役員選挙結果

第 107 期大洗支部執行委員 (定数 6 名)

届出	氏名	所属	得票
1			
2			
3			

当選 3 人、投票総数 78 人、白票 0、無効票 3

第 109 期高崎支部執行委員 (定数 4 名)

届出	氏名	所属	得票
1			
2			

当選 2 人、投票総数 12 人、白票 0、無効票 0

第 70 期中央執行委員 退任あいさつ

1 年間という中央執行委員の任期を終えるにあたり、第 70 期の活動や JAEA・QST の情勢などについて振り返りたいと思います。

<組合役員選挙の結果について>

6 月下旬に投票が行われた「第 71 期 組合役員選挙」では、立候補者の選出に難航して何度も届出締め切りを延長したため、無事に選挙を完了することができるか大いに心配されました。しかし、組合員の皆さんの奮闘のおかげにより、どうにか立候補者を揃えることができ、無事に選挙を完了することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

7 月より新体制となる第 71 期 中央執行委員は、定数 10 名に対してその半数となる 5 名（うち 3 名は継続）での活動となります。活発な活動を行うためには組合員の皆さんの継続したご支援が不可欠であると考えておりますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。また、第 70 期は平均年齢が 54.6 歳（5 名中 3 人が約 64 歳）で活動を開始しましたが、第 71 期では大洗より若い組合員が立候補してくれたため、一気に 38.0 歳まで若返ります。今後、組合活動の合理化・効率化を進める上では若い力が必ず活躍してくれると思います。皆様のお力で第 71 期の中央執行部を支えていただき、「構造改革」のお手本となるような活動を進めてもらいたいと思います。

<原子力機構（JAEA）の現状について>

原子力機構では、所掌施設の約半数を廃止する「施設中長期計画」を現在進行形で進めております。さらに2018年度には「バックエンドロードマップ」を発表し、今後、約70年の期間と約1.9兆円の予算をかけるという気の遠くなるような事業を私たちは進めて行くことになります。

原研労組としては、このような後ろ向きの話が多い状況では、仕事へのモチベーションの維持・向上が非常に難しくなっているのではないかと考えております。約半数の施設は廃止措置計画を進めることになっていますが、経験のない業務の上に予算措置が出来ていないため、計画の進捗は遅れております。残り半数の継続利用の施設についても、新規制基準対応の困難さのために、なかなか再稼働が進んでいないのが現状です。

また、2017年6月に大洗の燃料研究棟で起きた被ばく事故以降も、各事業所で労働災害やトラブルが相次ぎ、その都度、安全管理の強化が求められてきたことは皆さんも感じているのではないのでしょうか。作業・実験等を進めるためには、現場はかなりの負担を強いられる状態となり、品質保証・安全に係る会議や教育、書類作成等の業務が激増し、研究開発の速度低下が懸念されております。

JAEAでは最近、職員のモチベーションアップのために経営層主導で「元気向上プロジェクト」、「現場力向上」といった活動を行っております（カイゼン活動は停止中ですが）。さらには2019年4月より「構造改革推進室」が立ち上げられ、JAEAが抱えるさまざまな経営課題を抽出し、業務の効率化などを図る活動が開始されました。

原研労組としては、キャッチフレーズや掛け声だけで問題解決や責任を現場側に押し付けるようなことはせず、安全で確実な業務を進めるに必要な予算と人員を確保し、組織運営や労働環境を含めて働きやすい職場にすべきであると訴えてきました。これからも「現場の声を経営層に届ける」などの活動を積極的に継続して欲しいと思います。

<6級技術職の昇任審査方法の変更について>

2019年3月から現場の技術力やモチベーションの向上を目的として、「6級技術職の昇任審査方法」が変更となりました。これまでは人事評価と面接、推薦書による審査でありましたが、制度変更によって業務実績や経験、資格などの書類審査が加わることとなりました。

原研労組は、以前の6級昇任審査は「面接の出来・不出来が大きく影響するもの」であり、「結局は本人の職場での働きぶりではなく、面接者の恣意的な判断で決まってしまうのはおかしい」と指摘してきました。これまでの面接重視の人事制度が、職場の雰囲気や自由な研究開発の発想にも影響していたと考えております。今回、制度を改め、JAEAとしても現場の技術力・モチベーション向上を図るという認識に変わった

ことは、画期的なことであったと考えております。今後の6級昇任審査が、客観的に人物を評価し、目的通りの人事制度として運用されるように見守って欲しいと思います。

<働き方改革への対応について>

2019年4月より、働き方改革への対応が行われました。「時間外労働の上限規制」に対しては超勤時間の管理方法が変更され、一定時間を超えるとサービス管理システムから警告が発せられる超勤警告機能が設けられました。

また、「年休5日の取得」に対しては、年休の取得状況が毎月、サービス管理システムからメール通知され、前年度あるいは上半期に年休5日を取得できていない場合は、所属長と面談の上で「年休5日時季指定計画」を作成することとなりました。

以前は、昔ながらの研究者体質の所属長は「自己研鑽をよし」とするような話がよく聞かれました。原研労組としては、この機会にサービス残業の撲滅を目指して、「労働時間を適正に管理するように所属長などに繰り返し周知するように」と機構へ要求してきました。今後とも適正な労務管理を実現するための活動を続けて欲しいと思います。

<量研機構（QST）の現状について>

2016年に放医研とJAEAの一部が統合し、QSTが法人発足してから丸3年が経過しました。事業としては仙台に放射光施設の建設計画が進められ、那珂では核融合炉JT-60SAへのアップグレードなどが進められております。法人発足から間もないためか、積極的に新しい人事制度等を導入する姿勢が見られます。

これまで、JAEAからQSTに移籍した組合員の処遇が低下しないように運動してきましたが、2017年4月に一方実施された職制等の一部変更により、6級に昇格すると技術員手当も職責手当もつかなくなり、賃金がダウンするという事態が大きな問題となっています。QST側も「法人統合によるゆがみが出ている」としながらも、未だ改善は図られておりません。2019年春闘では原研労組と放医研労組の共同で労使交渉に臨み、法人発足前の処遇維持の約束を守り、現状を改善するように訴えました。今後も両労組が力を合わせることで、処遇・職場環境等の改善を実現して欲しいと思います。

<最後に>

第70期中央執行委員会は、組合員の生活と権利を守り、職場の安全を確保し、国民から信頼されるJAEA・QSTとなれるように努めてきました。これまでの組合員の皆様のご協力に感謝申し上げます。より良い処遇・職場環境を実現するため、第71期の新体制に対しても、ご支援・ご協力を賜れますと幸いです。よろしく申し上げます。

第70期 中央執行委員会